



山奥へつづく細い道を走って行った先に、かつての間伐の現場と最近の間伐の現場がありました。枝打ちされ、間伐材をきれいに搬出した山林には地表まで日光があたり、木も山も活力を生みます。これが林業の活力となり、地域を豊かにしていくはずです。

かつての間伐の現場では、切り捨てられた木がそのまま朽ちている、そんな風景がありました。

日南町に限らず、日本の山林・林業に関しては過疎化や後継者問題など、厳しい状況です。

一方、単に木材生産地として山林を見るのではない動きが出てきています。

山林のもつ多機能性が注目され、また見直されてきています。

山とともに生活する私たちが地域に誇りをもち、よりよい山を残していけば、日南町や林業への関心がさらに高まるのではないかと、そう考えています。

本年は皆様に大変お世話になりました。来年も NPO の活動にご協力をお願いいたします。